

「謹賀新年」 あけましておめでとうございます。
 新しき年もどうぞ数多くの皆様にふれあい文化センターをご利用いただきたいと思います。ご来館をお待ちしております。

ご協力ありがとうございました！「ふれ文・かけはしウィーク」

11月12日に「ふれあい文化センターかけはしウィーク」の活動を計画し、地域の小学校に協力していただき様々な取組をしました。「低学年児童と一緒にレクレーションダンス」「中学年児童のダンス講座」「絵手紙教室」「インターネット利用法講座」など、ふれあい文化センター講師を中心に協力いただき「大好評！」でした。
 コロナ感染が拡大してからは、センターと学校との交流も少なくなりとても寂しい思いでしたが、今回は万全の対策を講じての出前訪問学習としました。
 来年も是非とも取り組んでみたいと思っています。



「絵手紙」の様子

じんけんコラム ホツと♡スペース

ひとにやさしい、じぶんによさしい
 あたたかい話題をとどけます！

1月29日(日) [毎年1月最終日曜日] は、世界ハンセン病の日

映画「もののけ姫」の一場面ではハンセン病患者を描いたことを、映画監督の宮崎駿さんは明らかにしています。登場する包帯姿の人々で、ハンセン病患者と明示してはいませんが、「業病(ごうびょう)と言われながら生きた人を描きたかった」と述べました。国立ハンセン病療養所多磨全生園(東京都東村山市)を訪れ、ハンセン病について感じたことが作品につながったそうです。

熊本県合志市にある国立ハンセン病療養所「菊池恵楓園(けいふうえん)」の歴史資料館が今年5月にリニューアルオープンしました。300点以上の資料が展示されており、ハンセン病問題及びハンセン病差別のなかで力強く生き抜いてきた恵楓園入所者らの人生を後世に伝えています。

ハンセン病はまずなにより「知る」ことが第1歩になります。「世界ハンセン病の日」を機に、ひとりひとりがハンセン病の理解を深めていくことが大切です。

「ふれあい文化センター第47回文化祭」

を本年度は開催予定です。
 まだまだコロナ感染、そしてインフルエンザの流行への対応も必要です。
 よって、見学希望の方は諸注意もありますので「事前申込」をお願いします。
 お問い合わせはセンター事務所へ。



開催日：令和5年2月3日(金)4日(土)
 内容：2月3日(金) 午前閉講式・講演会
 午後「第1部ステージ発表」
 :2月4日(土) 午前「第2部ステージ発表」閉会式 終了予定：12時
 ★両日ともに展示発表はします。
 バザー「お茶講座」 ※料理講座は無し
 ★2月3日(金) 午後0時半~1時半
 「リサイクル図書譲渡会」を開催

ふれあい文化センター図書室

蔵書数約8000冊。人気本もあり、すぐ借りることができることもあります。どうぞ、ご利用ください。
 開館日時：月曜日から土曜日(日曜、祝日は休館) 午前10時~正午、午後1時~5時
 貸し出し：2週間に2冊まで

回																			
覧																			

KAKEHASHI 1月号

かけはし

広報誌第559号
 2023.1.1 発行
 熊本市配布文書 第2号

発行：
 ふれあい文化センター
 TEL 366-7310
 西原公園児童館
 TEL 371-4090

人権一口講座

感染症による差別

短い
メッセージ

つらい事があつたら何でも話してみてもらった私もうれしいよ

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会 人権カレンダー
 龍田小学校5年 内村早喜さんの作品より

今年度に入ってからコロナ禍にあっても、強い行動制限はしないという政府の方針から、ふれあい文化センターでもコロナの影響での休館がないことは喜ばしい限りです。
 職員も感染防止策を講じつつ視察研修をする機会が増えてきました。その中に菊池恵楓園の歴史資料館が今年の5月に増改築を経て新館・本館として整備されたので研修に行ってきました。
 研修時間が一時間限りの研修でしたので、資料館の展示物すべてをじっくり見るのは出来ませんでしたが、見学しやすい配置になっていました。
 特に入ってすぐにあるガイダンス映像はハンセン病の歴史やそこに置かれた人々の苦悩が理解しやすく、とても有意なものでした。
 ハンセン病(原因菌:らい菌)は遺伝病でも不治の病でもなく、また感染力も微弱であるにも関わらず「無らい県運動」などが展開され平成八年の「らい予防法」の廃止まで隔離政策が続き入所者たちを苦しめてきました。
 入所者の言葉として「療養所とは名ばかりで収容所であった。」とのフレーズに、ひどい状況であったことがうかがえます。
 人権問題は差別する側の問題であるのに、差別される側をひとまとめにして社会から隔離する政策には恐ろしさを感じます。
 ハンセン病に改名された「らい病」は奈良時代の文献にも載っているくらい古くからある病ということや、今でも発生している諸外国があつて世界から無くなった病気ではないということも学習できました。
 新型コロナウイルスにおいても当初は感染者や医療従事者に対して差別的な行動があり、未知のウイルスに対して人間が起こす同調圧力はハンセン病による差別にかよっていると指摘する方もいらっしゃるのです。
 正しい知識を習得することが、「正しい判断ができるようになる」差別解消に繋がる「そのようなことを思うと、たくさんの方に新しくなった資料館を是非とも見に行つてもらいたいと強く感じた、充実した研修会となりました。」

謹賀新年、本年もよろしくお願い申し上げます